

2024年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（後期）

試験区分	☒ 一般入試 ☐ 外国人留学生特別入試 ☐ 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	専門試験（ 行動科学 ）
出題の意図	問1 文化間多様性と普遍性とは存在する人間の心理をどのように理解し、また検討していくべきかを論じさせることを通じて、当該の問題に関する基礎知識と応用力・研究分野全体を俯瞰する視野の広さ・論理的思考力・文章構成力を評価する。 問2 社会心理学の主要なトピックである社会的合意形成に関する検討課題・仮説・研究計画の立案を求めることを通じて、当該領域の基礎知識・研究計画力・論理的思考力を評価する。 問3 行動科学研究に関連する基礎的な知識を評価する。

2024年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 行動科学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 3枚を配付する。

以下の問1から問3までの全ての問に答えなさい。解答は、問ごとに別の解答用紙を用い、冒頭に問番号を記入しなさい。

問1

「アメリカ人だけを対象とした研究をしても、日本人の心については何もわからないだろう」との意見に対して、あなたの考えを述べなさい。解答に、具体的な理論や研究例などを含めてもよい。

問2

あなたが人間の社会的合意形成に関する実証研究を行うとする。以下の3つの問に答えなさい。

- (1) 具体的な検討課題を挙げ、その内容と意義を説明しなさい。
- (2) (1) の検討課題について、仮説とその根拠を述べなさい。
- (3) (2) の仮説を検証するための具体的な研究計画を説明しなさい。

問3

以下の全ての問に答えなさい。

- a) 分配的公正 (distributive justice) と手続き的公正 (procedural justice) とは何かを、これらの概念についての著名な研究に言及しつつ説明しなさい。
- b) 計画的行動理論 (theory of planned behavior) とは何かを、この理論についての著名な研究に言及しつつ説明しなさい。
- c) 社会関係資本 (social capital) とは何かを、この概念についての著名な研究に言及しつつ説明しなさい。
- d) 実験研究における偽薬効果 (placebo effect) とは何かを説明し、それを防ぐための方法を指摘しなさい。
- e) 心理学研究における内的妥当性 (internal validity) と外的妥当性 (external validity) とは何かについて、両者の間の違いと関係性に触れながら説明しなさい。

以上